



# 議会だより な お し ま

2022 No. 198  
令和4年1月11日

発行 ● 香川県直島町議会  
編集 ● 広報編集特別委員会  
電話 ● (087)892-2297  
印刷 ● 山陽印刷(株)



貴重な体験 町のために活かしたい  
(中学生1日議会)

議 副 議  
員 長 長

〃 〃 〃 〃 〃 〃

小野 孝一  
宮原 三郎  
中根 清孝  
西岡 裕喜  
山上 英一  
山下 玲子  
松島 俊雄  
浜口 敏夫  
井下 良雄

明けて  
おめでとう

おめでとうございます

小児科医を派遣して(町長報告).....2P  
 新たな住宅施策の展開を(一般質問) ... 4~7P  
 英語力に感動(Meet the World).....7P  
 これからの行動(中学生1日議会体験記) ... 10・11P  
 迎えてくれる温かさに励まされて  
 (U・Iターン者に聞く).....12P



小林町長

たぶん難しい

# 小児科医を派遣して

に開催しました。町する質疑を行ない、を慎重に審議し、原で可決しました。が町政に対する考え

(主なもの)

- 9月24日 高松北警察署上杉署長他が屏風島及び向島視察のため来島されました。
- 10月9日 「硝子の茶室『聞鳥庵』」茶室披き及び記念トークが開催されました。
- 10月14日 「県政について話そう」知事意見交換会が開催されました。
- 10月20日 国土交通省港湾局長を訪問し、予算確保の要望をしました。
- 11月16日 四国運輸局交通政策部バリアフリー推進室、加藤課長他が交通に係るバリアフリー法関連基本構想など説明のため来庁されました。
- 11月17日 全国町村長大会が開催されました。
- 11月29日 瀬戸内国際芸術祭直島町実行委員会が開催されました。

## 主な質疑

訪問の目的は

**Q** (西岡) 高松北署長が、屏風島と向島を視察された。その内容は。

**A** (町長) 今まで北署が視察したことがなかったため、現場を視察した。

何か要望が出たか

**Q** (山上)「県政について話そう」県知事との意見交換会が開催されたが、何か要望が出たか。

**A**

(町長) キッズポートとの意見交換会で、「小児科医を派遣できないか」という要望があったが、たぶん難しい。

予算要望の内容は

**Q** (小野) 国土交通省港湾局長に予算要望をしたか。内容は。

**A**

(町長) 南海トラフ地震に係る予算強化をお願いした。

芸術祭新たな作品は

**Q** (山下) 来年の瀬戸内国際芸術祭の新たな作品は、何かあるか。

**A** (町長) 硝子の茶室『聞鳥庵』、杉本氏のギャラリーなどだ。

**Q** (山下) 女文楽の出演予定はあるか。

**A** (町長) 女文楽のイペントも実施予定だ。

**Q** (山下) 役場ロビーの木造船を利用し

**A**

(町長) 演目によっては、利用できるが、利用できるとなれば、直島ホールへ運んでの利用を考える。

基本構想の内容は

**Q** (小野) バリアフリー法関連基本構想とある。どういう構想か。

**A** (町長) デジタル推進室、公共施設や公共機関等のバリアフリーを、自治体として整備していくという構想や計画を作成していくという法律だという説明を受けた。



キッズポートと知事との意見交換会



熱演する女文楽 (2010 瀬戸芸)



鴨井教育長

月1回  
点検している

# 遊具は 安全か

12月定例会を7日  
長・教育長報告に対  
提出された議案6件  
案のとおり全員賛成  
一般質問には4人  
を質問しました。

## 主な質疑

協議会の中身は

**Q** (西岡) 青少年育成連絡協議会の内

容は。

**A** (教育長) 主な議題は青少年協だより

の原稿依頼と割り当てで、2月に発行する。

スポーツ推進委員会話題は

**Q** (宮原) スポーツ推進委員は連絡調整を行なうとかコーディネーターの役割が期待さ

れるが、最近の委員会の話題は。

**A** (教育長) 新しいスポーツやパラリンピックで脚光を浴びたボッチャについて協議している。

委員会の内容は

**Q** (小野) 教育長部会の運営委員会です

話した内容は。

**A** (教育長) さまざまな研究団体の、来年度補助金の分配や予算額の協議だ。

(主なもの)

- 9月21日 スポーツ推進委員主催のお月見ウォーキングが開催され、54人が参加しました。
- 9月30日 東部教育長会・現地研修が開催されました。
- 10月5日 香川各市町教育委員会連絡協議会教育長部会第1回運営委員会が開催されました。
- 10月14日 第3回幼小中合同研修会が開催されました。
- 10月15日 部落解放・人権政策確立要求2021年度県内「網の目」行動が開催されました。
- 10月27日 第42回校内合唱コンクールが開催されました。
- 11月3・4日 令和3年度教育文化祭が開催されました。
- 11月9日 令和4年度へき地教育に関する人事及び予算についての要望の会が開催されました。
- 11月27日 「Meet the World」が小学校・中学校で開催されました。



お月見ウォーキング前の様子

高専学生が参加

**Q** (小野) 教育文化祭に高専が参加している。何かで調べて参加したのか。

**A** (町長) 職員の子息さんが高専に在籍しており、コロナ禍でほとんど活動ができていないので、直島へと話が出て実現した。

教師の人数は

**Q** (山上) 代替教員が不足しているのは病気休暇や産前休暇を取る教師が増えているのか、また、教師になる人数が減っているのか。

**A** (教育長) 全国的に先生の数が足りていない。取り合いの状況だ。教員志望も全国的に減っている。

へき地教育希望者は

**Q** (宮原) へき地教育に関する人事だが、教員がいらないのか、

また、へき地だから希望者がいないのか。

**A** 学校規模により教員定数が決まっている。へき地学校の希望者は多い。子どもたちが素直で教育のしがいがあると実感している先生は多い。

遊具の安全は

**Q** (西岡) 他県の保育園で遊具の事故が発生した。当町の園では整備点検をしたり、職員が見守っているのか。

**A** (教育長) 毎月1回定期点検をして、異常があれば対応している。幼児学園・小学校では必ず何人かが見回っている。



# 問

作成しています



山上 議員

## 新たな住宅施策の展開を

〔町長〕 最重要課題として進めていきたい

本町では、これまで移住定住を促進するための住宅施策の取り組みとして、直島力ラースによる空き家などの利用促進への取り組み、家族向け・単身向け町営住宅の建設、社宅整備費用助成制度の創設、積浦の姫宮団地宅地分譲などさまざまな事業を展開してきた。それらの効果もあり現在、人口3000人を維持している状況だ。

身者用アパートを建設、その他関連企業においても社員用の社宅を建設したことなどから多くの若者が本町に定住してくれている。現在、それらの若者が結婚の適齢期を迎え、家族向けの住居が不足しているのではないかと声を町民から最近よく聞く。

定住化の促進対策は、本町の第一の課題であることから、三菱マテリアルなどの社宅計画も把握したうえで、町の事務事業の見直しを同時に行なうことを前提に、優先順位の高い住宅施策について早急に検討すべきだ。

**A**

（町長） 当町において、住宅施策は最重要課題のひとつである。

現在、単身者用住宅は、需要と供給が均衡している。

が、家族用住宅は、常に満室であり、若い世代向けの住宅は不足していると考えられている。そのため12月補正予算にて横防家族用住宅の実施設計業務を計上し、来年度には1棟2戸の建設を予定している。応募状況をみて次期計画も検討したい。

**Q** 三菱マテリアルの従業員が、結婚により社宅入居を希望しても、入居できない状況だと聞いているが。

**A**

（町長） 町として製錬所に対して、従業員が直島で住めるよう対策をお願いしている。これからも継続して要望していく。

**Q** 積浦の宅地分譲地は、計画の半分の土地を購入し整備をしたが、残りの半分について現在明らかに不足している賃貸住宅の用地として整備し、国の補助を受け集合住宅の建設を検討したらどうか。



積浦宅地分譲地

**A** （町長） 今後の住宅施策については、さまざまな手法を検討して進めていきたい。

### 公務員の定年延長について

今年度、地方公務員の定年を65歳まで延長する法改正がなされた。これにより既存の再任用制度が廃止（令和13年度までの移行期間中は存置）となり、令和5年度から2年に1歳ずつ、65歳まで段階的に引き上げられる。

定年の引き上げは、継続的な新規採用や、若手人材の登用機会の確保といった組織活力への影響が懸念される一方で、60歳を超える職員の知識や経験が活かせるといった効果が期待されるなど、さまざまな面がある。

また、原則60歳になれば管理職については、降格となる「役職定年」が導入される。

ここ2年間で観光協会と社会福祉協議会に退職

者がそれぞれ再任用という形ではなく再雇用という形で勤務しているが、本町のような小さな自治体の人事管理はますます難しくなることが予想される。

そこで、これからの60

歳到達者の雇用についての考え方や職員の新規採用など町としての人事管理について、今後10年先までの60歳到達者の人数を示したうえで、町長の見解を伺う。

**A**

（町長） 今後10年先までの60歳到達者は一般職で13名となっている。新規職員の採用は、各年度の退職者数を考慮しながら計画的な補充を実施する。

今後の行政を取り巻く環境は、大きく変化することが予想され、そのためにも若手職員の人材育成に努めながら、定年延長制度の趣旨を尊重し、若手とベテラン職員を融合させ、役場はサービス業であるということを肝に銘じて、前に進みたい。

# 町長に

質問者の責任において

## 普及率向上の具体策は

〔町長〕 時間外交付を行なっている

くりをしてはどうか。

また、マイナンバーカードが普及することに、スマホやパソコンで行政手続きが可能になり、生活の利便性が向上することを、ふれあい通信で放送すれば、登録数増加につながるのではないか。

**A** (町長) マイナンバーカードが生活

マイナンバーカードだが、令和3年10月現在の登録者率は全国平均で38%弱だと総務省が発表しており、普及率がまだ低いのが現状である。

当町においても他の自治体同様だ。登録者数の増加を図る対策が必要と考える。

例えば、ふれあい診療所でマイナンバーカードを保険証の代わりに使用できるようにシステムの導入をするなど、町民が身近に感じられる環境づくり



西岡 議員

また、今年10月20日から、マイナンバーカードの健康保険利用の本格運用がスタートし、ふれあい診療所では、機器を導入し、11月から運用を

開始している。行政手続きについては、今後、マイナンバーカードの普及に伴い、オンラインでの申請も検討していきたい。そして、普及促進にお



【うら面】



【おもて面】

マイナンバーカード

ける取り組みとしては、取得の啓発グッズ、ポケットティッシュ等を配布するほか、毎月第2水曜日に役場閉庁後から午後7時まで、予約制で時間外交付を行なっている。

個人番号を証明する書類や本人確認の際、公的な本人確認として利用でき、ふれあい診療所で、健康保険証として利用できること等を広報活動により住民に周知を行ない、普及率の向上に努めていきたい。

## 電動キックボードの安全対策を

ちよい乗りとして電動キックボードが普及している。安価で気軽に乗れることから人気の乗り物だが、原付バイクと同じ扱いの規制がある。

しかし、

乗っている人は自転車感覚で運転しているため、違反や事故が急増している現状があると報道されている。

来年は瀬戸芸が開催され、多くの観光客が来島すると恐れ、中には電動キックボードを持参する人もいるのではないかと、

事故等を懸念する町民の声もあり、未然に事故を抑制するルール作りが必要ではないか。

町民の安心安全を守るため、駐在さんに相談して、港や船内等に注意喚起のポスターを掲示するなど、具体的対策の検討・実施が必要ではないか。

**A** (町長) 現状の制

度では規制しにくい。国土交通省では、新たなモビリティの安全性の確保をねらって、新しい車両区分を設けて最適な安全基準を具体化するなど、車両技術基準の策



キックボード

定に向けて本格的な議論を、スタートしたところだ。

また、警察庁においても道路交通法に基づき、小型低速車に適用する交通ルールを検証し、中間報告書をまとめている。

町として、来島された観光客の方々に楽しく、事故なく島内で過ごしていただくため、また、町民に迷惑がかからないようにするため、利用者への注意喚起やチラシの配布のほか、町内の主要な場所に啓発のほりの設置やグッズの作成など、交通ルールやマナーなどの順守徹底の呼びかけ強化に努めたい。

# 一般質問



松島 議員

## なぜ宮島はできて直島はできないのか

〔町長〕今は検討する段階ではない

入島税について、先の浜口議員の質問に対し、種々理由を述べ導入できないとの答弁だった。

しかし、この質問の基となった新聞記事によると、列挙した諸課題を克服して『宮島』は2023年度の導入を決定した。宮島はできて直島はなぜできないのか問う。

**A** (町長) 入島税の導入は、町民・町内事業者・町外の方々のご理解とご協力がなければ困難であると考えます。また広島県廿日市市で行われた徴収システム『宮島訪問税』構築業務については応募した1社が選定されている。当町では事業者が参加するかどうか。課題・問題点を考えると、今は検討する段階ではないと考えています。入島税とは別に『ふ

るさと納税』を充実させることで財源確保、良い町づくりを努めていきたい。

**Q** 浜口議員に答え

たのと同じ答弁だ。私が尋ねたのは、宮島はやると決めた。先の答弁はやらないための理由列挙。そこで宮島を統括する廿日市市は条件を全て検討し、克服し、解決をしたうえで実施するということだ。町長は廿日市市に対して取材されたか尋ねる。

**A** (町長) 廿日市市に対し私から尋ねたことはない。

**Q** 先方に出向いて行って課題克服のための検討をし、その結果こうであるというプロセスがない。学んだうえで結論付けるべきと考える。

メリットがないからやらないのか、検討したいがもう少し時間をかける必要があるというのか、どちらなのか。

**A** (町長) 検討することはないと理解

いただきたい。(松島) 全くやるつもりはないというのが町長の判断であると理解し質問は終了する。

### 県道「齋土の坂」 拡幅の再質問

以前この問題の質問に対する答弁は①八日山墓地区南側は実施。②他は不可能であった。①の部分は半分着手。残りの部分はどうなのか。②の他の部分、元赤木医院跡は現所有者に協力願えるのではないか。その役場側は現状、空き家状態であり

交渉可能では。当局の『ヤル気』を問う。

**A** (町長) 質問の中に「不可能」という表現があるが私は「非常に厳しい」と答弁した。

①の部分は今年度末までに全面完成する予定。残りの役場までの区間は現況大変難しいというのが現状だ。空き家に関して

は以前管理者と話したが良い返事はなかった。この状況の中、大変難しいという現状だ。しかし長年の懸案事項であり、慎重に県等と協議しながら進めていきたい。

**Q** 前回通りの回答

だ。現状は西側からA宅B宅C宅の3軒並び。A宅B宅は南面庭が相当広く若干のご協力はお願いできるのではないかと。C宅は南面が狭くご協力いただいても1メートルが限界かなという感じ。空き家の方には再度

お願いしてほしい。(町長) 非常に厳しいと言ってしまう。いくらヤル気を出しても先方のあることだ。空き家については今後も粘り強く話したい。

**A** (松島) 結論的には避けては通れない道であるといふふうに理解した。諸々のハードルをいかに解決していくか、これは実

に町長のヤル気と能力にかかってくると、私は経験上感じる。ぜひともよろしく処置をしていただきたいと再度申しあげる。



齋土の坂 今後の行方は



中根 議員

先日TVで移住者に1番人気の地方のことが放送されていた。内容は希望者が体験宿泊するときの交通費、宿泊費、食事代が無料で専用のコンシェルジュを付けていた。また、移住者の心配なところには市長が説明案内していた。その内容は子どもの教育のことで、「都会と地方では地方の教育が遅れてはいないのか」ということでした。市長はそんなことはない。電子黒板や一人一台の端末を配り授業を進めていると説明していた。

当町においてもすでに実現しており、補助の面でも可能と考える。食事面でも番組では店の料理を出していたが、当町では生協など町内の店で食材をそろえて料理して、都会と変わらない食材を見て体験して、現在、町で行なっているいろいろな補助や助成など説明し、町の良いところを知ってもらい決めていただく。このような手厚いPRを発信してはどうか。町長の考えを伺う。

**A**

(町長) 毎年一定数の移住者の受け入れが行なわれているが、移住者の大半は就業目的であり、特性は今も昔も大きく変わっていない。

また、観光産業を営む新たな法人が進出してきたことや、空き家物件が不足している影響もあり、減少傾向にある。移住目的がさまざまなため、町では法人を対象とした住宅の整備補助や、個人を対象とした家賃補助などの支援制度を設けているほか、移住者向けポータルサイト直島カラーズ

で、空き家改修補助など各種補助や子育て支援、求人情報、イベント情報、関連するSNS情報などを掲載しており、移住希望者や家族世代の定住に向けた体制を整えていく。今後、直島の魅力を多くの方に知っていただくため、情報発信や都市部でのPR活動など事業内容も精査し、長期にわたり継続可能な取り組みを構築していく。

**Q**

新たに体験住宅を造るという考えはないか。

**A**

(町長) 体験住宅は民間がやっている事業で、町でやるのは無理だ。民間の方に手をあげていただくのがベターだと思っている。

**Q**

体験したい移住希望者が来ても、民間がやってくれないと

できないということか。

**A**

(町長) たしかにいろんな相談はあるが、相談内容によって、担当課も手厚く協議し、相談はしている。体験住宅は今はないので、希望には沿えない。

**Q**

空いている町営住宅を充てるのは無理か。

**A**

(町長) 特公賃とか公営住宅法とかの規制があり、簡単にいいですとは言えない。



NAOSHIMA COLORS

直島をもっとカラフルに... 【直島カラーズ】

〔町長〕 移住希望者にもっと手厚いPRを 継続可能な取り組みを構築していく

英語力に感動 (Meet the World)

11月27日(水) 小学2年生・5年生、中学3年生のMeet the Worldを見学させていただきました。

小学生のクラスは笑い声が聞こえ、画面からの外国人先生の話しかけに反応していました。參觀されている保護者も動画を撮るなど、楽しんでました。中学3年生はひとりずつ前に出て、直島の観光名所を全て英語で画面に向かって説明していました。アドリブ的に返され



英語で観光案内

る質問には担当の先生からヒントをもらったり、苦心しながらも対応していました。

生徒たちの英語は流暢で、直島町の英語教育のレベルの高さに感動しました。

先生方と生徒の会話もフレンドリーで、明るい教育現場に安心しました。機会があればぜひまた見学したいと思いました。

(山下 記)



楽しく英会話

山上 委員長

# 中期財政計画の素案が示される

10月31日  
投票率 65・05%  
(平成29年 62・57%)  
期日前投票率 29・17%  
18歳・19歳投票者数 34人中19人

## 中期財政計画

今年度策定中の中期財政計画の素案が示され勉強会を実施した。

総務課長からこの計画の概略説明があり、今後10年間毎年の工事費を4億5千万円に設定したうえで行政運営を行なうことにより、町の貯金である基金残高も減少することはないとの説明を受けた。

(委員から)

この計画で使用している人口や収支計画での各種係数について、少し見込みが甘いと思われるので、もっと厳しく現実的な数値を設定したうえで計画を見直すべきではないかと要望した。

10月までの集計分  
452件  
1725万円  
昨年同月 608件  
2200万円

Q なっているがその大きく減収と

要因は。

A 本町は、他の自治体に比べ食料品の返礼品が少ないことが大きな要因だ。

## 町営バス時刻・路線変更

令和4年1月からの主な変更点  
・三菱マテリアル内への乗り入れ便の廃止  
・四国汽船高速旅客船の接続を考慮  
・積浦地区内での路線変更

(委員から)

町民専用小型バスでは全区間フリー乗降とする。変更点が多いので、町民周知はわかりやすくお願いする。

9月21日 海の駅から地中美術館チケットセンターを往復  
参加者 54人

## 教育文化祭

11月3・4日  
出品作品数 909点  
来場者数 1047人

## 外国語指導助手着任

新しいALTのクリストファー・ダンクリー先生(イギリス出身 29歳)は、コロナのため着任が遅れていたが、11月25日に来島した。

## (現地視察)

現在建設中の積浦集会所・第2分団屯所を視察した。



建設現場を視察

## 一般会計

歳入・歳出予算の総額に3458万円を追加し、それぞれ32億8604万円となりました。

### 歳入の主なもの

- 国庫補助金 2478万円追加
- 繰越金 980万円追加

### 歳出の主なもの

- 庁用器具購入費 104万円追加
- 子育て世帯臨時特別給付金 2050万円追加
- 新型コロナウイルス感染症

感染症検査費用補助 280万円追加

● 積浦公園整備工事測量設計業務 750万円追加

● 横防家族用住宅整備工事実施設計業務 246万円追加

Q 整備工事測量設計業務で整備予定の土地はどこか。

A (町長) 積浦の宅地分譲地に残っている町有地の残地と、その土地に隣接している個人所有の土地を購入して整備する予定だ。



積浦公園整備予定地



## 介護療養型医療施設から 併設型小規模介護医療院へ

経済・民生

中根 委員長

〔ふれあい診療所〕

○スプリングクラーの設置  
○介護医療院への移行

**Q** (浜口) 併設型小規模介護医療院を詳しく説明してほしい。

**A** (事務長) 現在、医療の入院と、介護の入院をしているが、基本的には同じだ。介護療養型医療施設の届け出が廃止されるので、介護医療院の届け出が必要になり、介護支援専門員を置かなければならない。

〔住民福祉課〕

○補正予算 児童手当のシステム改修費 子育て世帯の臨時特別給付金を計上

**Q** (山上) 臨時特別給付金の内容は。

**A** (課長) 10万円の内、5万円は現金で、後の5万円の内容は決まっていない(現在10万円一括給付の予定)。

〔健康推進室〕

コロナワクチン接種3回目の接種は、8カ月を経過した後実施する。医療従事者は1月末に、高

齢者は3月から実施予定。

**Q** (小野) ガン検診の結果は、町から個人へ通知するのか。

**A** (室長) 個人宛に全ての方にしている。再検査が必要な方は県内の病院なら予約を取ってくれて、県外の病院には紹介状を付けている。

〔建設経済課〕

○9月24日 キジハタの稚魚約3千尾を放流  
○10月17日 直島コメづくりプロジェクト

ト「稲刈り」が開催

○つり公園利用者数、10月末まで1692人

〔環境水道課〕

○9月27日28日 チューリップ球根配布

○12月下旬 エコアイランドなおしま推進委員会

**Q** (西岡) 年末のゴミ収集だが、29日午前中まで出している

ということが。

**A** (課長) 通常の朝8時30分までにとのことだ。

**Q** (中根) 球根配布数の内訳は。

**A** (課長) 役場235袋、積浦集会所67袋、西部公民館200袋、横防分館87袋で合計589袋だ。

〔現地視察〕

現在建設中のふれあい診療所発熱外来等診察室を視察した。



完成間近の発熱外来等診察室

離島振興法の改正・延長を求める意見書

離島においては、昭和28年に離島振興法が制定されて以来、離島振興政策が推進され、生活条件の改善、産業基盤の整備等を中心とする社会資本の形成が大きく進展した。離島は、我が国の領域、排他的経済水域等の保全、海洋資源の利用、多様な文化の継承、自然環境の保全とあわせて、自然との触れ合いの場及び機会の提供、食料の安定的な供給等、我が国及び国民の利益の保護及び増進に重要な役割を担っている。

意見書を提出

しかしながら、離島においては、厳しい自然的・社会的条件の下、人の往来、生活に必用な物資等の輸送に要する費用が他の地域に比較して多額であることのほか、医療提供体制や産業基盤、生活環境等が脆弱(ぜいろう)といた本土との地域格差は、引き続き対応すべき課題である。また、人口減少や高齢化が進展するとともに、基幹産業である一次産業の停滞など、離島をめぐる状況は依然として厳しく、一層強力に離島振興政策を推進していく必要がある。

よって、国においては、現行の離島振興法が令和4年度末をもって失効することから、抜本改正の上、恒久法化も視野に入れて延長されるよう、強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、内閣官房長官

# 中学生 1日議会体験記

11月8日、第38回中学3年生1日議会が開催され、12の質問で町政を問いました。再質問もあり、有意義な議会体験になったと思います。皆さんに感想文を書いていただきましたが、紙面の都合上6人の生徒の文を紹介します。

## これからの行動

このたび、1日議会体験を経験させていただきました。質問をするときの引きしまった空気の中、はきはきとかまずにしゃべることの難しさを知りました。

私は二つ質問したので、余計に緊張しました。しかし、この二つの質問に対してとても丁寧に答えてくださりありがとうございました。答弁を聞き、納得せざるをえない状況でしたので、本当にすごいと思いました。これから、自分が直島のためにどのような行動をとったらいいかを考え、実行していきたいです。このたびは本当に1日議会体験をさせていただきありがとうございました。



丹場 惟斗 さん

## 有意義な体験

私は今回の体験で初めて議長の職を体験し、とても緊張しました。そこで普段どのような議会がおこなわれているか、どのようなものがよく分かりました。また、質問の際には、手を握り挙手をすることや質問する時の言い方などが分かり、とても面白かったです。

私が路面の状態について質問した際には、とても丁寧にくわしく答えてくださりありがとうございました。私は、その答えを聞き深く納得しました。

私は今回の経験を忘れません。

このたびは本当に1日議会体験をさせていただきありがとうございました。



西岡 慎太郎 さん

## 議会に興味を持ちたい

私は、点字ブロックの設置について質問させていただきました。執行部の前で堂々と質問するのは、とても緊張することがわかりました。議場はとても広かったのでより緊張感が増しました。また、私の質問について丁寧に答えてくださりありがとうございました。

質問に対する答えを聞いて、とても納得しました。他の人は積極的に質問していたので私も積極的に質問したいと思いました。議会に少しでも興味を持てたので良かったと思います。今回はコロナ禍でとてもお忙しい中、このような貴重な体験ができてとてもうれしかったです。この体験を活かして、今後の活動に活かしたいです。今回はありがとうございました。



宮原 礼 さん



## これからの直島町

私は、この議会体験を通して、これからの直島町がもっと活発になるように考えるとともに、直島町のことについて詳しく学ぶことができました。初めての議会体験でとても緊張しましたが、しっかりと自分の意見を言い、疑問に思ったことには再質問ができ、とても貴重な時間を過ごせたと思います。また、私の質問に対して、詳しく分かりやすく説明をして頂き、とても有意義な体験になったと思います。この議会体験ではさまざまなことを学ぶことができました。この貴重な体験で学んだことを将来、直島町の活性化のために生かしていきたいです。また、コロナは終息にむかいつつも、まだまだ大変な時期にこのように議会体験ができたことを本当にうれしく思います。本当にありがとうございました。



庭月野 瑛麻 さん

## 貴重な体験

私は、11月8日に議会体験をさせていただきました。初めての体験でとても緊張しましたが、執行部の方々が、私達がした質問に回答するために、現地を見に行ったり、問い合わせをしたりと、丁寧な対応をしてもらってとても嬉しかったです。

また、議長の役を務めさせていただいた際、「緊張なくていいからね」とやさしい言葉をかけていただき、リラックスして議長の役に臨むことができました。

コロナ禍で大変な状況の中、このような貴重な体験をさせていただけたことをとても嬉しく思います。本当にありがとうございました。



高崎 美桜 さん

## 安心して暮らすために

私は横防地区の街灯増設と点検について質問させていただきました。横防地区は他の地区に比べて街灯が少ないと個人的に感じていたので住民の安全のために増設していただきたいという要望をしました。すると、執行部の方はとても詳しく丁寧に説明してくださって納得しました。また、議会に参加することや実際に議員さんが普段議会のときに座られている席に座って発言することは緊張したけれど楽しかったです。議会ではきちんと自分の意見を発言することや、よりよい町づくりのために質問を一生懸命に考えることは大変だけれどとても大切だと思いました。そして、普段からも社会のために自分の意見をしっかりと発言できるようにしたいです。このたびはとても貴重な議会体験をさせていただき、本当にありがとうございました。



眞木 望杏 さん



お客様お迎えの準備中

**柴** 困ったこと…特に何にも思い

**Q** お仕事以外での友人

**柴** 右も左も分らない未熟な私とSANAMANEを温かく受け入れてくださり、感謝の念に堪えません。長引くコロナ禍という未曾有の時代に、わずかでも一条の光となれるよう、今は果た



リピーターと記念撮影

迎えてくれる温かさに励まされて

**柴** 2019年8月です。グランピング施設のオープンに、骨をうずめる覚悟で移住しました。

スがよく、不便はありません。強いて言えば、急な体調不良時、大きな病院がなく少し心細く感じ

**Q** お休みの日はどのように過ごされていますか。

**柴** 最後に町民の方々にメッセージを。

柴田さん、これからもいろんな人と出会い、施設と町の発展にご活躍ください。



柴田 園子さん

**Q** お仕事の内容は。施設の予約管理やプログラミング、食事の提供やお客様のおもてなし等、なんでもこなして、皆のお母ちゃん的な存在で、毎日楽しくお仕事をしております。

浮かびませんが、何かあればご近所さんや友人、大家さんに手を貸していただき常に助けられています。限られたコミュニケーションの中で、そこに必要な救世主が現れて、サポートしてくださるエキスパートがいることは、本当にありがたくて宝です。



船上朝食でのサーブ

すべき天職を全うするばかりです。今もなお助けられ、与えてもらってばかりの日々から、まだまだ恩返しには程遠いですが、少しずつ頼られて力になれるよう、企業としても、私個人としても尽力していきたいと思えます。

**Q** いつ頃直島に移住されましたか。そのきっかけは。

**柴** ご縁があつてシェアハウスに住んでいます。地元の玉野市にもアクセス

**柴** 施設建設中にお声掛けいただき「直島塾」に入会させていただきました。さまざまな分野で活躍されている方と出会い、視野が広がります。大変勉強になりました。まだまだ何も

「園子ちゃん!」とお声掛けいただければ嬉しいです。よろしくお願いたします。

また、議員一同、町民のため、汗をかいてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。皆さまのご多幸をお祈りいたします。

- 「 「 「 「
- 議長** 井下 良雄  
**委員長** 山下 玲子  
**副委員長** 浜口 敏夫  
**委員** 山上 英一  
 西岡裕喜広  
 中根 清孝  
 宮原 三郎  
 小野 孝一

広報編集特別委員会

(西岡 記)

編集後記